

今月の逸品

NO.14 2016.05



写真：郷土写真 京都府女子師範学校郷土研究室

茶摘女

大正時代

155mm×110mm×305mm

京都の老舗人形店・丸平大木人形店において、大正年間に製作された「茶摘女」の人形。島田髷に白手拭いをかぶり、紺地白緋の着物と前垂れ、あかねだすき、手甲・脚絆といった、独特の茶摘装束で表現されており、手には付属の籠を持っている。茶摘女の姿は、「あかねだすきに菅のかさ」と歌う文部省唱歌「茶摘み」で有名であるが、この人形は「菅のかさ」をかぶっておらず、実際の茶摘みにおいても、「菅のかさ」を用いない地域が多かった。京都の茶所である宇治では、八十八夜にあたる5月初旬に一番茶が、6月下旬に二番茶が摘み取られたようで、京都府女子師範学校郷土研究室が昭和10年代に作成した「郷土写真」というアルバムには、「辻利兵衛茶園」の茶摘み写真を見出すことができる。



箱に貼られた丸平大木人形店の商標